記者発表資料

令和６年１０月１０日
最上川流域治水協議会
最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会

頻発する水災害への備え！！令和6年7月の大雨を踏まえ、大規模災害を想定した危機管理演習を実施！！

令和２年７月豪雨から４年、令和４年８月洪水から２年を迎え、令和６年においても７月２５日の大雨等で県内各地に洪水被害等が生じております。
演習は、令和２年７月豪雨にて、被害を受けた村山地域の関係自治体及び山形県、国土交通省において、令和６年７月大雨での被災状況を踏まえ、実践的な危機管理演習を行います。

※最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会では、構成員の災害対応能力の向上を目的として「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく「最上川上流域の減災に係る取組方針」により、令和6年度の取組として、構成市町村、県、国を対象とした危機管理演習を実施します。

最上川上流危機管理演習
（約 40 名出席予定。東根市及び西川町は「WEB 会議ツールの活用」による危機感共有の訓練を実施）

１．開催日時：令和６年１０月１７日（木）１０：００～１５：１０
※取材受付　９：３０～　報道機関向け概要説明　９：４５～１０：００
※当日の気象、災害状況等により延期する場合があります。

２．開催場所：山形河川国道事務所　２階大会議室へお越しください。

３．参加機関：天童市・東根市・河北町・西川町・山形県、山形河川国道事務所

４．内 容 等：危機管理演習【別添①】参照
①簡易 RPG 方式による演習
②課題解決型による演習

５．取　　材：会場での受付後、撮影は随時可能とします。

＜発表記者会＞：山形県政記者クラブ、米沢記者クラブ

問合せ先
【最上川流域治水協議会　事務局】
【最上川上流大規模氾濫時の減災対策協議会　事務局】
東北地方整備局　山形河川国道事務所
山形市成沢西 4 丁目 3 番 55 号
電話　023-688-8421（代表）
副所長（河川）　山影（やまかげ）　修司（しゅうじ）（内線　204）
流域治水課長　今野（こんの）　浩一（こういち）（内線　351）

東北地方整備局 山形河川国道事務所

令和６年度 取材申込書

・取材を希望される報道機関におかれましては、下記送付先まで FAX・メールでお申し込み下さい。

取材申込期限：取組前日の１６：００まで

１．取材を希望する取組名

２．報道機関名（会社名及び部署名）

３．氏名

４．連絡先（連絡可能な携帯電話等）

送付先：ＦＡＸの場合　０２３－６８８－８４３８

送付先：メールの場合　thr-761chouichi@ki.mlit.go.jp

（東北地方整備局 山形河川国道事務所 流域治水課あて）

最上川上流危機管理演習（村山地区）

国土交通省
山形河川国道事務所

別添①

スケジュール（予定）

10:00
- 報道機関取材受付（9：30～9：45）
- 報道機関向け全体演習概要説明（9：45～10：00）
- 開会式：5分（10：00～10：05）
- 演習説明：5分（10：05～10：10）

11:00
- 危機管理演習：90分　（10：10～12：00）
- **訓練1：　簡易RPG方式による演習**

12:00
- 昼食・休憩：60分　（12：00～13：00）

13:00
- 危機管理演習：40分　（13：00～13：40）
- **訓練1：　簡易RPG方式の振り返り**

14:00
- 休憩：10分　（13：40～13：50）
- 危機管理演習：50分　（13：50～14：40）
- **訓練2：　課題解決型による演習**

15:00
- 全体発表（検討結果共有）：30分　（14：40～15：10）

16:00

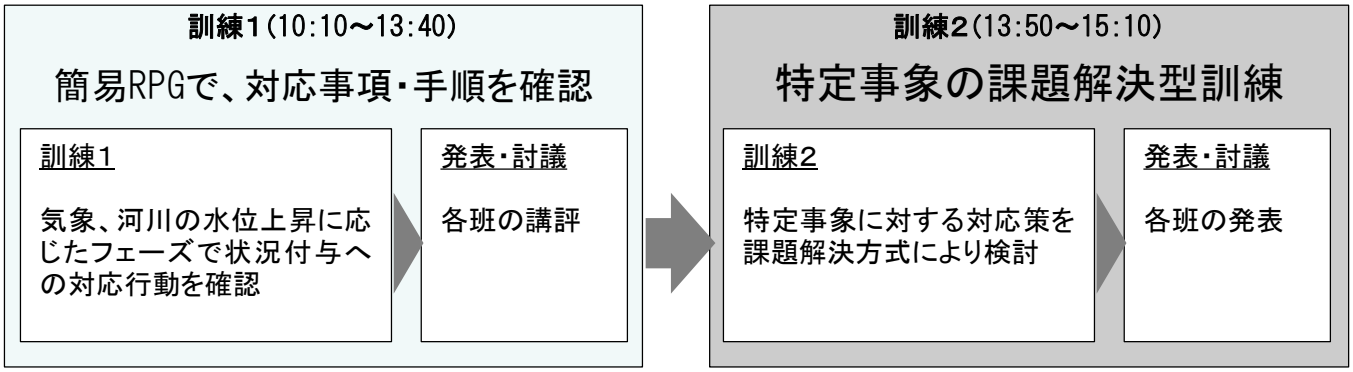
【留意事項】
①当日の気象、災害状況等により延期する場合があります。
②当日は、一般の方々の見学も可能です。
③報道機関を対象に、当日の9:45から全体の訓練内容を説明しますので、会場入口で受付をしてください。

最上川上流危機管理演習（村山地区）

国土交通省
山形河川国道事務所

実施内容

演習の流れ



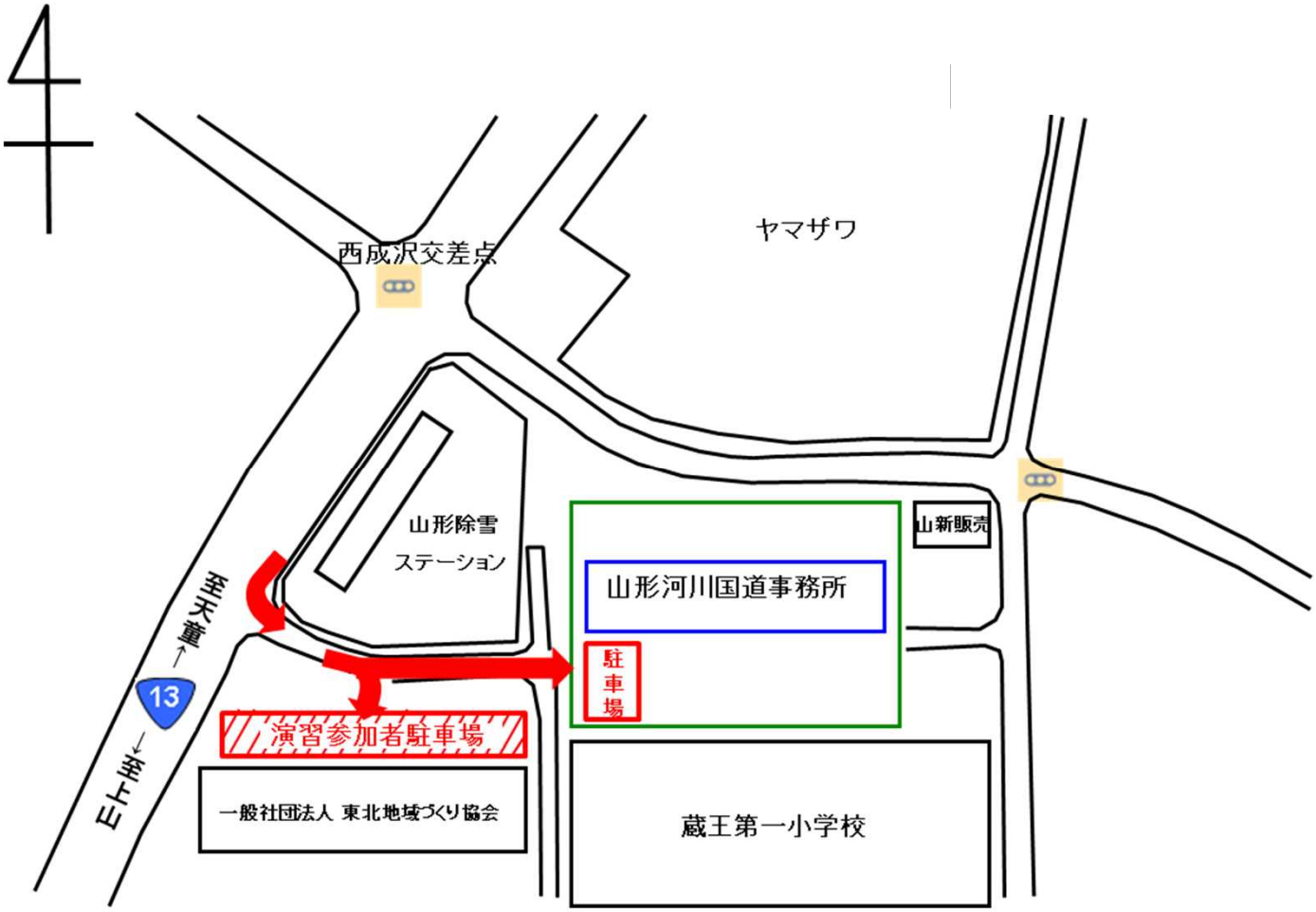
※訓練1　簡易ロールプレイング方式とは

●気象状況や河川の水位上昇に応じていくつかのフェーズに分類し、フェーズごとに浸水被害等の状況を付与し、対応行動を検討、書き出していく方法を採用。
●状況付与は、紙媒体で行う簡易なものとし、想定時間で状況付与を行う。
●各フェーズ20分程度とし、いくつかの状況付与を行い、適切な対応行動を各班ごとに検討し、書き出す。

※訓練2　課題解決型とは

●予め対応方法が詳細に検討されていない特定事象の状況を付与する。
●プレーヤーはその状況に対して、限られたリソース（情報、人員等）の中で取り得る最適な対応を図面等をもとにDIG方式で検討する。
（DIG：Disaster Imagination Game）
●付与される特定事象に対して様々な観点からディスカッションすることで、予め準備しておかなければならない課題と改善策（対応の優先事項の考え方、対応マニュアルの更新、事前調査等）を掘り起こすことを企図。

※今回の主な訓練のポイント
・R2.7豪雨やR6.7大雨など実災害を踏まえた演習シナリオ
（土砂による孤立集落の発生や要配慮者対応等）
・多機関・多部署の連携による演習の実施
・地域個別課題に適応したDIG方式の訓練実施
・各班の演習成果の発表（演習の振り返り）



会場に関するお問合せ及び当日の連絡先
TEL　023－688－8933（山形河川国道事務所 流域治水課）

令和5年度 最上川上流危機管理演習状況
（7月12日・山形河川国道事務所）







訓練の様子